

〔Daily 日本史〕

【問】 2004 年度 本試験 日本史 B 第 3 問

中世の政治・社会に関する A・B の文章・史料を読み、以下の問い(問 1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

(配点 17)

A 源頼朝の死後、鎌倉幕府の政治は中心を失って動揺した。やがて北条時政が有力御家人間の権力闘争の中で幕府の実権を掌握し、北条氏による執権政治への道をひらくと、その子義時は、侍所と政所の別当を兼ねて執権の地位を固めた。

執権政治は、^(a)北条時頼が有力御家人の三浦泰村を滅ぼした 以降、しだいに変質していった。そして、蒙古襲来を契機として、北条氏一族が全国各地の守護職の多くを手に入れたり、主要な都市や港湾の直轄化をはかったりするなど、^(b)得宗主導の政治が行われるようになった。この得宗専制の展開にともなって、御内人の発言力が増大し、御家人との対立を激化させ、ついには有力御家人の が滅ぼされる事件も引き起こされた。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

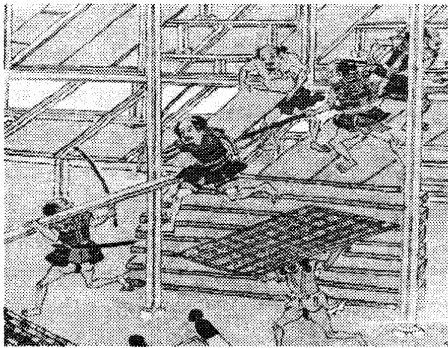
- | | | | | |
|---|---|------|---|------|
| ① | ア | 宝治合戦 | イ | 和田義盛 |
| ② | ア | 宝治合戦 | イ | 安達泰盛 |
| ③ | ア | 霜月騒動 | イ | 和田義盛 |
| ④ | ア | 霜月騒動 | イ | 安達泰盛 |

問 2 下線部(a)の人物が行った政策について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

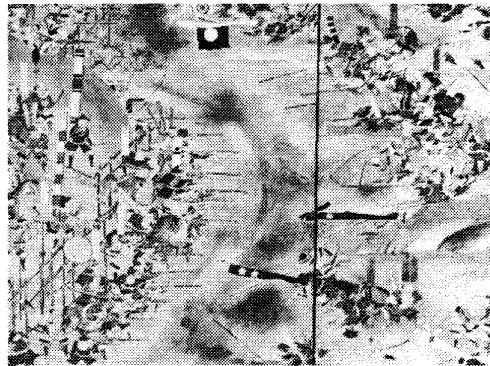
- ① 有力御家人や政務にすぐれた人々を選んで、評定衆を創設した。
- ② 後嵯峨天皇の子宗尊親王を鎌倉幕府の将軍に迎えた。
- ③ 前将軍九条(藤原)頼経を京都へ送還した。
- ④ 裁判の迅速化をはかるため、新たに引付衆を設置した。

問3 下線部(b)に関連して、この時期の出来事を描いた絵として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

①



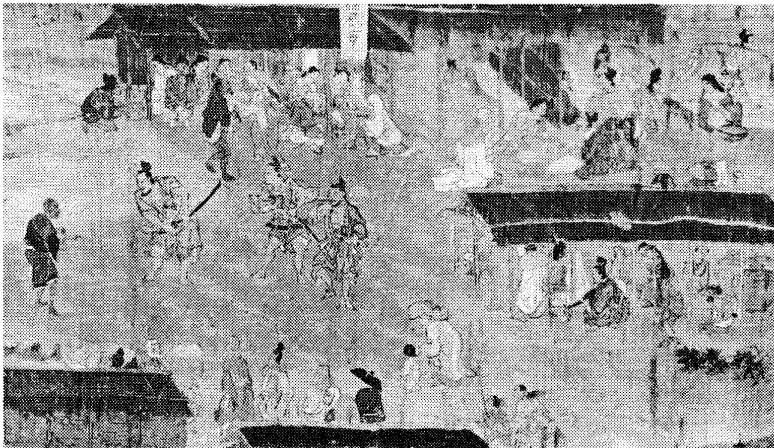
②



③



④



B (文明十七年十二月)十一日、今日山城国人集会す。上は六十歳、下は十五六歳と云々。同じく一国中の土民等群集す。今度両陣の時宜(注)を申し定めんがための故と云々。しかるべきか。但し、またウのいたりなり。両陣の返事・問答の様いかん、いまだ聞かず。

十七日、^(c)両陣の武家衆各引退き了んぬ。山城一国中の国人等申し合わす故なり。自今以後においては、両エ方は国中に入るべからず。

(『大乘院寺社雑事記』)

(注) 「時宜」とは、適当な処置のこと。

問4 空欄ウ エに入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 一味同心 エ 斯波 ② ウ 一味同心 エ 畠山
③ ウ 下剋上 エ 畠山 ④ ウ 下剋上 エ 斯波

問5 下線部(c)に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 両陣の武家衆は、山城の国人たちとの合戦に敗れて退いた。
② 両陣の武家衆は、山城の国人たちに家臣として組織されていた。
③ このあと、山城の国人たちの協議による自治が8年間続いた。
④ 山城の国人たちは、本願寺の命令を受けて行動していた。

問6 この史料に関連して、15世紀後半の社会や文化について述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。

X キリスト教が伝来し、西日本を中心に広まった。

Y 日親の布教活動により、日蓮宗が京都を中心に西日本各地に広まった。

Z 連歌の規則書である『応安新式』が作られた。

- ① X 正 Y 正 Z 誤 ② X 正 Y 誤 Z 誤
③ X 誤 Y 正 Z 正 ④ X 誤 Y 正 Z 誤

【解答】 2004 年度 本試験 日本史 B 第 3 問

A

問 1 ②

問 2 ①

問 3 ④

B

問 4 ③

問 5 ③

問 6 ④